

今回誕生した壁画の場所は次ページをご覧ください
ふわりの森×ロク 特別編集
謹賀新年 2020
アートマップ
アート詣をしよう!

ART POOL PROJECT!!



1つ目の巨大壁画 (35m) は夏に完成済み!

←次のページをチェック



壁画 (正面側)
before



after

現代アートに変身!

裏側にまわると
更に巨大な壁画が!



before

裏面は下に降りて撮ると
インスタ映え!
after



場所: 栄町民プール 所在地: 竜角寺台小学校 横
参加アーティスト: ANJO BORALDA, シムラユスケ 主催: ふわりの森アートプロジェクト 後援: 栄町、栄町教育委員会

NEW YEAR 2020! NEW ART!!

現代アートの巨大遺跡!? 新年最新の現代アート特集

2020年、オリンピックイヤー!街にアートが飛び出す!!
現代アートとスポーツが融合するアートプール最新作!

なで当時の歴史のレイヤーに、新たな現代アートが出現していき、その地を活性化し、再構築がスタートしているのではないかと思います。そのルーツにアクセスできる要素がそれぞれの作品に込められて点に集まっています。今回の作品は岩屋古墳の色(春(さくじ)、夏(緑)、秋冬(茶色)も表しています。そこに夕日や田畑が繰り返す現れ、湖や川が繰り返す時間の絵がカラフルな巨大遺跡のように誕生しました。」



めに、多くの職人がこの場所にいました。その後衰退し、開かれた土地に新しい町ができていき、その中で僕らアーティストがこの地に拠点を構えて屋外作品をはじめ、さまざまなアートを残しはじめました。この場所に集まるアーティストインレジデンスも偶然ではなく、そんな文化力の高かった土地にまた僕らが集まり出しているのではないかと感じています。



「今回の作品は、このアートプールがある成田空港圏市町村の栄町の古墳の歴史をコンセプトにしています。海外からのゲストアーティストアンジョーを迎え、この地域にある日本一の方墳である岩屋古墳を軸に当時から移り変わる地形の時間と現代アートにつながる作品になっています。」

「今回のカラフルな現代アート、コンセプトを教えてください。」
「今回の作品は、このアートプールがある成田空港圏市町村の栄町の古墳の歴史をコンセプトにしています。海外からのゲストアーティストアンジョーを迎え、この地域にある日本一の方墳である岩屋古墳を軸に当時から移り変わる地形の時間と現代アートにつながる作品になっています。」

「ありがとうございます。今回は2020年のオリンピックイヤーに合わせて制作している、現代アートとプールの融合させたアートプールの作品として完成しました。前回は2019年の夏に40m近い壁画が完成し、今回もかなり大きな壁画になっているので皆さんにもぜひ観てほしいです。」

「地域の時間と現代アート」
「この町には関東屈指の古寺の国宝でもある龍角寺があり、7世紀までに豪族が集まりこの地域を開拓したという歴史があります。豊かな文化力と歴史があるこの場所に、今アーティストが集結しているのは必然だったのかもしれないです。」

「地域の時間と現代アート」
「この町には関東屈指の古寺の国宝でもある龍角寺があり、7世紀までに豪族が集まりこの地域を開拓したという歴史があります。豊かな文化力と歴史があるこの場所に、今アーティストが集結しているのは必然だったのかもしれないです。」



日本最大の方墳 岩屋古墳をリサーチ (千葉県印旛郡栄町)

「今年の夏、7月にはアートを楽しめるプールとして完成します。5アーティストが参加し作り上げていく時間を共有し、本の物語のようにスタートからゴールまで記憶に残る現代アートにしたいと思っています。それが僕の生み出したい記憶のアートです。完成までまだあるのでぜひ一緒に作りましょう!」



2020年夏のアートプール完成を語る2人のアーティスト

「今回の制作も栄町の子たちとアーティスト、町外からも多数参加してくださいました。ふるさとでもある町に、アートを目的に來てくれるのはうれしいし、アンジョーも制作中楽しんでいて、この景色を感じてもらい、さらに広がっていくと嬉しいです。」

地域の歴史と文化の復活、町の新しいイメージになりますね。現代アートの制作には今回も地域の方や町外からもたくさんの方が来ていましたね。」

「当時の技術や財力からみても龍角寺の建設は力の象徴でもあり、この地域の古墳群をみれば豪族が集まり文化力を持っていたのがわかります。同時に、衣装や建築、景観づくりや土器等で権力を示すた

「この町には関東屈指の古寺の国宝でもある龍角寺があり、7世紀までに豪族が集まりこの地域を開拓したという歴史があります。豊かな文化力と歴史があるこの場所に、今アーティストが集結しているのは必然だったのかもしれないです。」



壁画制作には、数日で100名を超える参加者が!巨大な壁画アートをアーティストと制作、アートが日常に現れた。



巨大なアートを完成させ語る

今回のプール壁画を手がけたアーティスト

ANJO BORALDA (アーティスト)

フィリピン、マニラ在住。アーティスト、グラフィックデザイナー、イラストレーターなどマルチなツールで絵画を制作。東南アジア、東アジアなどで滞在を通じ、日常のなかにある景色や食文化、人との出会いを作品化する。アーティスト主体のオルタナティブスペースのメンバーとしても活動。ふわりの森アーティストインレジデンス 2019の滞在制作が日本で初めての滞在、作品の発表となる。



このキムチは

シムラユスケ Yusuke Shimura (ふわりの森 総合ディレクター、アーティスト)

1981年生まれ。アーティスト。東京、ニューヨークを拠点に国内外での個展、アップルストアによる特集、吉田カバンや様々なメディアとのコラボなど注目を集める。2014年には海外に加え幼少期から育った国内(成田市・栄町)に拠点をもち、成田国際空港を中心に広がる大自然をフィールドに空港圏初の現代アートの拠点「ふわりの森アートプロジェクト」をスタート。2020年 空港都市国際芸術祭「ふわりの森 ART PROJECT」の総合ディレクターを務める。JR安食駅にアート作品が常設。